

薬学実践英語 1

責 任 者・コーディネーター		臨床薬学講座薬学教育学分野 白石 博久 特任教授	
担当講座・学科(分野)		外国語学科英語分野、薬科学講座創薬有機化学分野、医療薬科学講座薬物代謝動態学分野、臨床薬学講座薬学教育学分野	
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 24 時間 (12 コマ)
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・ねらい

薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実践的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって英語による学習を可能とする素地を養う。自然科学や薬学関連の記事や論文、および医療現場で用いられる説明書や処方箋を英語で学ぶことにより、薬学研究や英語での対応が必要とされる薬剤師業務で必要とされる実践的な英語力を身につけることができるようになる。

・学修目標

- 1) 教材中にでてくる薬学関連の英文を読み、その内容を説明できる。
- 2) 教材中にでてくる薬学関連の英文を聞いて、その内容を説明できる。
- 3) 教材中で使われた語彙を列挙できる。
- 4) 教材で習得した語彙を用いて、簡単な文章を書くことができる。
- 5) 英語論文の構成を理解し、内容を説明できる。

・薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応項目

英語教育科目に直接つながる対応項目はないが、全ての項目における英文情報の収集・読解や、多職種連携・患者対応の際の英語によるコミュニケーションに深く関連している。
B-2-1 対人援助のためのコミュニケーション、B-2-2 多職種連携、B-3-3 医療資源の有効利用、G-1-1 薬学的課題発見に向けた批判的思考と俯瞰的思考、G-1-2 薬学研究に取り組む姿勢、G-2-1 研究課題の設定と研究計画の立案

・学修事項

- (1) 薬局での患者応対を想定したコミュニケーション
- (2) 薬の投薬方法や副作用等の説明
- (3) 専門用語の語根、接尾辞などの構成要素
- (4) 語根、接尾辞などの構成要素を用いた専門用語の構築
- (5) 専門用語によく使われる接頭辞の意味
- (6) よく使われる接頭辞を含む専門用語の意味
- (7) 薬の投与経路
- (8) 主な薬剤クラス
- (9) 薬学関連専門用語の発音
- (10) 薬の名前（化学名/ジェネリック名（一般名）/販売名（商品名））

(11) 英語の処方箋
 (12) 薬の体内動態
 (13) 英語論文の構成
 (14) 英語論文の読解
 (15) 医療現場における英会話の聞き取りと書き取り

・ この科目を学ぶために関連の強い科目

ESL(English Speaking & Listening)、ERW(English Reading & Writing)、実践英語、科学英語

・ この科目を学んだ後につなげる科目

薬学実践英語 2、卒業研究

・ 講義日程

(矢) 西 106 1-F 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/19	金	2	創薬有機化学分野	河野 富一 教授	薬局での患者対応を想定した英語教材を使って専門用語・熟語を学ぶ。 1. 教材中にでてくる薬学関連の英文を読み、その内容を説明できる。 2. 教材中にでてくる薬の投薬方法や副作用等について英文で説明できる。 3. 教材中で使われた語彙を列挙できる。 【対話・議論型授業】 事前学修：事前に連絡した「くすり」について調べておくこと。 事後学修：授業内容を復習すること。
9/19	金	3	創薬有機化学分野	河野 富一 教授	薬局での患者対応を想定した英語教材を使って専門用語・熟語を学ぶ。 1. 教材中にでてくる薬学関連の英文を読み、その内容を説明できる。 2. 教材中にでてくる薬の投薬方法や副作用等について英文で説明できる。 3. 教材中で使われた語彙を列挙できる。 【対話・議論型授業】 事前学修：事前に連絡した「くすり」について調べておくこと。 事後学修：授業内容を復習すること。

10/3	金	4	外国語学科英語分野	ジョナサン レヴィン小倉 助教	薬学英语、科学英語をまとめた教材を使い、薬学領域で使われる専門用語を発音とともに学ぶ。 1. 専門用語を語根、接尾辞などの構成要素に分けることができる。 2. よく使われる構成要素の意味を英語で説明できる。 3. 英語の専門用語の意味を英語で説明できる。 4. 語根、接尾辞などの構成要素を組み立てて専門用語を作ることができる。 5. 上記の1～4の内容に従って、小テストを行う。 【対話・議論型授業】【その他（英語での講義）】 事前学修：事前に指示する内容に取り組むこと。 事後学修：授業資料を復習すること。
10/22	水	4	外国語学科英語分野	ジョナサン レヴィン小倉 助教	薬学英语、科学英語をまとめた教材を使い、薬学領域で使われる専門用語を発音とともに学ぶ。 1. 専門用語によく使われる接頭辞の意味を英語で説明できる。 2. よく使われる接頭辞を含む専門用語の意味を英語で説明できる。 3. 接頭辞も含めて、構成要素を組み立てて専門用語を作ることができる。 4. 薬の投与経路を英語で説明できる。 5. 主な薬剤クラスを英語で説明できる。 6. 上記の1～5の内容に従って小テストを行う。 【対話・議論型授業】【その他（英語での講義）】 事前学修：前回の講義内容を復習すること。 事後学修：授業内容を復習すること。また、配布した演習課題に取り組むこと。
10/31	金	1	外国語学科英語分野	ジョナサン レヴィン小倉 助教	英語で書かれた薬の説明書や処方箋から、薬学英语の表現を学ぶ。 1. 薬の名前（化学名/ジェネリック名（一般名）/販売名（商品名））を英語で説明できる。 2. 服用方法、副作用など、薬の説明を英語で読み、内容を評価できる。

					3. 上記の1～2の内容に従って小テストを行う。 【対話・議論型授業】【その他（英語での講義）】 事前学修：前回の講義内容を復習すること。 事後学修：授業内容を復習すること。
11/12	水	3	外国語学科英語分野	ジョナサン レヴィン小倉 助教	英語で書かれた薬の説明書や処方箋から、薬学英语の表現を学ぶ。 1. 英語の処方箋を読み、その内容を評価できる。 2. 服用方法、副作用など、薬の説明を患者様にとって分かりやすい英語で説明できる。 3. 上記の1～2の内容に従って小テストを行う。 【対話・議論型授業】【その他（英語での講義）】 事前学修：前回の講義内容を復習すること。 事後学修：授業内容を復習すること。また、配布した演習課題に取り組むこと。
11/19	水	4	薬物代謝動態学分野	寺 島 潤 講 師	英語教材を使って薬局での会話に必要な表現を学ぶ。 1. 英語で書かれた薬の説明文書を読み、その内容を説明できる。 2. 薬の体内での基本的な動きを英語で説明できる。 【対話・議論型授業】 事前学修：指定した薬について調べておくこと。 事後学修：授業内容を復習すること。
11/21	金	3	薬物代謝動態学分野	寺 島 潤 講 師	英語教材を使って薬局での会話に必要な表現を学ぶ。 1. 英語で書かれた薬の説明文書を読み、その内容を説明できる。 2. 薬の体内での基本的な動きを英語で説明できる。 【対話・議論型授業】 事前学修：指定した薬について調べておくこと。 事後学修：授業内容を復習すること。

11/26	水	4	薬物代謝動態学分野	寺島 潤 講師	英語教材を使って薬局での会話に必要な表現を学ぶ。 1. 英語で書かれた薬の説明文書を読み、その内容を説明できる。 2. 薬の体内での基本的な動きを英語で説明できる。 【対話・議論型授業】 事前学修：指定した薬について調べておくこと。 事後学修：授業内容を復習すること。
11/28	金	2	薬学教育学分野	白石 博久 特任教授	薬学関連英語をまとめた教材を使い、薬学英语の表現を学ぶ。 1. 英会話を聞いて、その内容を書き取り、説明できる。 2. 英語論文（配布）の構成を説明できる。 3. 英語論文のタイトルと要旨を説明できる。 【対話・議論型授業】【その他（レポート課題）】 事前学修：指定した薬について調べておくこと。 事後学修：講義資料の復習。英文和訳のレポート課題に取り組む（提出〆切：次回講義開始時）。
12/5	金	2	薬学教育学分野	白石 博久 特任教授	薬学関連英語をまとめた教材を使い、薬学英语の表現を学ぶ。 1. 英会話を聞いて、その内容を書き取り、説明できる。 2. 薬学関連の英文を読み、その内容を説明できる。 【対話・議論型授業】【その他（レポート課題）】 事前学修：英文和訳のレポート課題に取り組む（提出〆切：本講義開始時）。 事後学修：英文和訳のレポート課題を復習する。
12/9	火	2	薬学教育学分野	白石 博久 特任教授	薬学関連英語をまとめた教材を使い、薬学英语の表現を学ぶ。 1. 英会話を聞いて、その内容を書き取り、説明できる。 2. 薬学関連の英文を読み、その内容を説明できる。 【対話・議論型授業】【その他（確認テスト）】

					事前学修：英文和訳のレポート課題を復習する。 事後学修：授業資料を復習すること。
--	--	--	--	--	---

・ディプロマポリシーとこの科目の関連

1. 薬剤師として医療に携わる職業であることを理解し、高い倫理観と豊かな人間性、及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を有しているもの。	○
2. 地域における人々の健康に関心を持ち、多様な価値観に配慮し、献身的な態度で適切な医療の提供と健康維持・増進のサポートに寄与できるもの。	○
3. チーム医療に積極的に参画し、他職種の相互の尊重と理解のもとに総合的な視点をもってファーマシューティカルケアを実践する能力を有するもの。	○
4. 国際的な視野を備え、医療分野の情報・科学技術を活用し、薬学・医療の進歩に資する総合的な素養と能力を有するもの。	◎

・評価事項とその方法

4名の担当教員から各担当講義において提示される小テストもしくはレポート課題の合計で評価する。定期試験は実施しない。各教員の配点は以下の通りとし、評価方法の内訳は下表に示す。

河野（20%）、レヴィン小倉（32%）、寺島（24%）、白石（24%）、以上計100%

下表「その他」の配点は、アクティブ・ラーニングやペアワークにおける授業態度の評価とする。

なお、評点が60点未満の場合は再試験を実施する。

担当	学修事項	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
河野	1、2	4 (1～3)			20				20
レヴィン小倉	3～11	4 (1～3)			30			2	32
寺島	1、12	4 (1～3)			24				24
白石	13～15	4 (1～3)		12	12				24
合計				12	88				100

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	薬学英语 基本用語用例集	瀬谷 幸男 他	南雲堂	2017

・特記事項・その他

- ・本科目は、各担当教員がそれぞれの専門分野に対応した英語教材を用意し、配布する。
- ・各コマに対して、事前学修と事後学修にそれぞれ45分程度を要する。また、レポート課題には3時間程度を要する。

- ・小テストやレポート課題の詳細は、配布資料や Moodle 等を用いて各担当教員から学習者へ伝達・フィードバックする。
- ・当該科目に関連する実務経験の有無 有
ジョナサン・レヴィン小倉 助教は、Native English Speaker として 4 コマ分の英語のみによる講義を行う。

- ・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	各担当教員所持のノートパソコン、タブレット	各 1	講義資料の提示